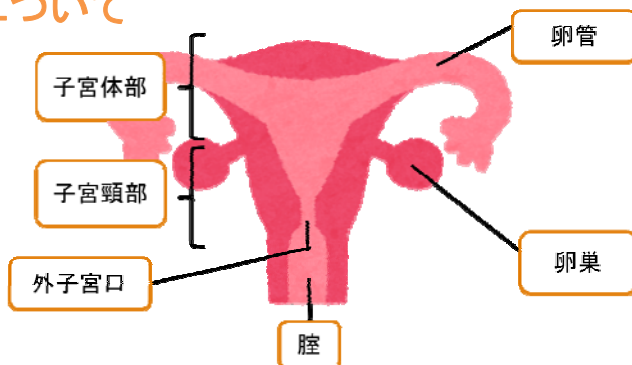




子宮頸がんについて

今回は、若い世代で罹患率の高い子宮頸がんについての特集です。

子宮について



子宮は卵巣から排卵された卵子と精子が結合した受精卵が、胎児として成長するところです。

妊娠が成立しない時は子宮内膜がはがれて月経を生じます。

子宮がんは

子宮頸部にできる子宮頸がん、子宮体部にできる子宮体がんに分けられます。



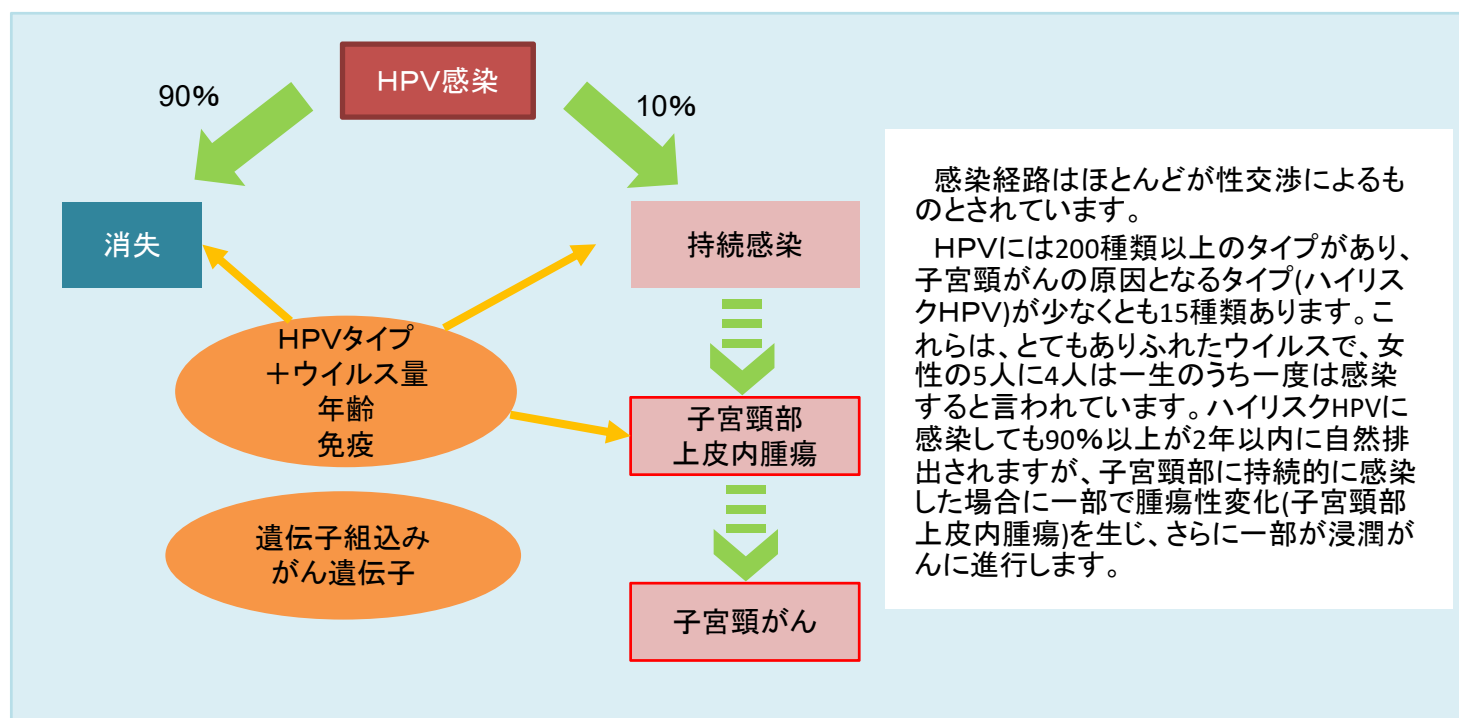
子宮頸がんについて

初期はほとんど無症状で進行すると不正出血や帯下(おりもの)

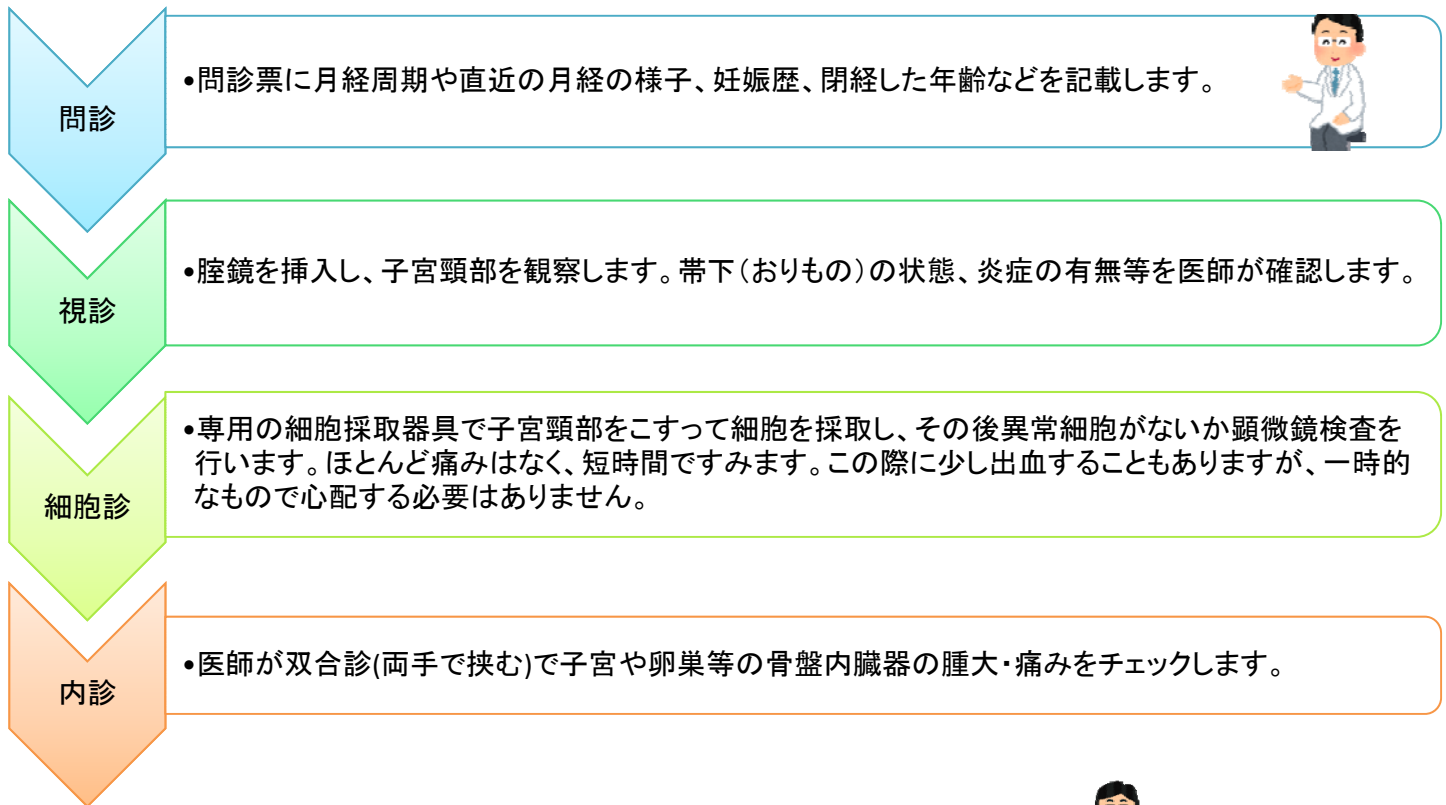
原因: 大部分がHPV(ヒトパピローマウイルス)の持続感染による発がん

ワクチン接種と検診を併せて行うことで予防と早期発見ができる

原因となるHPVとは・・・？



子宮がん検診について



HPV検査について

HPV検査とは、子宮頸がん検診の一貫としてHPV感染の有無を調べる検査です。



細胞診 / HPV検査併用健診

液状化検体法を利用すると、細胞診と同一の検体でがん化と関連するHPV(ハイリスクHPV)の検出が可能です。

市町村の一部では、既に実施されているところもありますので、市町村にお問い合わせください。

HPV検査単独法

採取した細胞がハイリスクHPVに感染しているかどうかを先に検査し、HPV陽性者に対してのみ同一検体で細胞診を行う方法です。

最近、国が示したガイドラインでは30～60歳が対象とされています。様々な課題もあり、現在は県内市町村での実績はありませんが、近い将来導入される可能性があります。

経膣超音波検査について

当財団では令和5年度から経膣超音波検査を検診に組み入れて、子宮内膜の観察による子宮体がん検査の必要な方の抽出に応用しています。また、子宮内膜症や小さめの子宮筋腫等の良性子宮疾患や卵巣腫瘍等の発見に努めています。(※経膣超音波検査は現在のところ健診センター(富安)のみでの実施となります。)



ワクチン接種と検診で子宮頸がんの予防・早期発見を



監修 皆川 幸久(鳥取県保健事業団総合保健センター長)
・産婦人科専門医(日本専門医機構)
・婦人科腫瘍専門医(日本婦人科腫瘍学会)
・細胞診専門医(日本臨床細胞学会)
・超音波専門医(日本超音波医学会)
・がん治療認定医(日本がん治療認定医機構)